中学歴史プリント（書き取り）
鎌倉時代 No.7

名前

得点 ／22

1. 1221年に、朝廷の権力を取り戻すために鎌倉幕府を倒そうと挙兵した人物は誰？
2. 源頼朝の死後、将軍を補佐して幕府の実権を握った北条氏の役職を何という？
3. 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？
4. 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？
5. 鎌倉幕府が、地方の軍事や警察、徴税を行うために設置した役職は守護と何か？
6. 浄土真宗を開き、阿弥陀仏の力を信じる教えを説いた僧は誰？
7. 鴨長明が活躍し、古典文学が発展した時期を何という？
8. 鎌倉幕府の将軍と主従関係を結び、御恩として所領を安堵された武士のことを何という？
9. 鎌倉時代に、承久の乱で朝廷側と戦い、勝利を収めた一族を何という？
10. 鎌倉幕府において、将軍が御家人に本領を安堵したり新恩を給与したりすることと、御家人が軍役などを果たすことの結びつきを何という？
11. 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？
12. 鎌倉幕府において、将軍が御家人の何を守る（安堵する）ことを根拠とした主従関係を「御恩と奉公」という？
13. 『方丈記』や『枕草子』、『徒然草』を総称して何という？
14. 承久の乱を起こし、鎌倉幕府を倒そうと試みた上皇は誰？
15. 鎌倉時代に時宗を開き、踊り念仏で教えを広めた人物は誰？
16. 鎌倉時代に広まった新しい仏教の一つである時宗を開き、念仏を唱えながら踊るという布教方法をとった僧侶は誰？
17. 浄土宗の教えが急激に広まったことを警戒した旧仏教勢力との対立により、法然が讃岐へ流された出来事を何という？
18. 鎌倉幕府が京都の監視や西国の統治を目的として設置した機関を何という？
19. 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？
20. 鎌倉幕府において、将軍から領地の所有権を認められるなどの恩恵を何という？
21. 鎌倉時代、税として年貢が徴収されていた土地の種類を何という？
22. 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「鎌倉時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.7 鎌倉時代

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	後鳥羽上皇は、北条義時追討の院宣を出し、倒幕を試みました。	後鳥羽上皇	□
2	執権は、はじめは将軍の補佐役として置かれましたが、北条時政が初代となって以降、北条氏が世襲するようになりました。	執権	□
3	東大寺南大門に安置されている金剛力士像は、運慶や快慶らによって作られました。	金剛力士像	□
4	1221年、後鳥羽上皇が幕府の倒幕を狙って挙兵した事件を承久の乱と呼びます。	承久の乱	□
5	守護は各国の軍事指揮や治安維持を行い、地頭は荘園や公領の管理、年貢の徴収を行いました。	地頭	□
6	親鸞は、自らの修行ではなく、阿弥陀仏の救いを純粋に信じることを強調しました。	親鸞	□
7	この時代には、戦乱の不安や厳しい生活環境を背景に、無常観を湛えた文学が発展しました。	鎌倉時代	□
8	御家人は、将軍から領地の所有権を認められる「御恩」を受ける代わりに、京都や鎌倉の警備、合戦時の軍役といった「奉公」の義務を負いました。	御家人	□
9	承久の乱が起こると、執権・北条義時のもとで幕府軍は京都へ進撃しました。	北条氏	□
10	将軍が武士（御家人）の土地の支配を保障することや、新しい土地を与えることを「御恩」といいます。	御恩と奉公	□
11	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。	地頭	□
12	将軍は御家人の領地（本領）を「安堵（保証）」し、時には新しい領地（新恩給与）を与える「御恩」を与えました。	土地	□
13	随筆は、決まった形式にとらわれず、筆者が感じたことや考えたことを自由な文章でまとめたものです。	随筆	□
14	1221年、後鳥羽上皇は全国の武士に対して北条義時を討つよう院宣（命令）を出しました。	後鳥羽上皇	□
15	一遍は、踊りながら念仏を唱える「踊念仏」を行い、全国を旅して信仰を広めました。	一遍	□
16	一遍は時宗の開祖であり、念仏を唱えることが救済につながると説きました。	一遍	□
17	その結果、法然は承元の法難によって讃岐（現在の香川県）へ流罪となり、多くの弟子も処分されました。	承元の法難	□
18	1221年に六波羅探題が置かれ、そこには北条氏の一族が就任しました。	六波羅探題	□
19	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。	防塁	□
20	御恩とは、将軍が御家人に対して行う経済的・地位的な保護のことです。	御恩	□
21	荘園は、貴族や有力な寺社などが所有する土地で、そこから上がる収益が当時の支配階級の重要な経済源でした。	荘園	□
22	『方丈記』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。	方丈記	□

言えなかった用語ノート